

北海道肉牛研究会 ニュース

No.26 2021.10.15

北海道肉牛研究会事務局
北海道立総合研究機構畜産試験場
肉牛グループ
〒081-0038
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地1
Tel:0156-64-0609 FAX:0156-64-3212

勝早桜5と双子検定

去る9月10日、ジェネティクス北海道より勝早桜5が15歳で永眠したとのお知らせがありました。その活躍については皆さん御存じの通りであり、北海道を代表する大種雄牛であるといっても過言ではありません。

勝早桜5は北海道が実施していた「北海道優良基幹種雄牛育成事業」により平成18年に誕生しました。当時、種雄牛は発育能力の検定（直接検定）により後代検定を実施する候補牛を選抜（一次選抜）していましたが、この方法では一次選抜において産肉能力が評価されません。そこで、本事業では受精卵分割により候補牛の一卵性双子を作出し、一方を種雄牛候補、他方を肥育することで、一次選抜において発育能力と肉質を評価する効率的な（双子）検定を実施するため、計画交配が行われました。しかしながら、一卵性双子の生産は容易ではないことからETにより全兄弟を生産し、これを肥育することで産肉能力を推定する全兄弟検定も併せて実施されています。勝早桜5と同期の種雄牛候補は4頭いましたが、この内一卵性双子が得られたのは勝早桜5を含め2頭でした。

勝早桜5と同期4頭の期待育種価および直接検定の成績を表1に示します。勝早桜5の直接検定の成績は同じ年に生まれた候補牛と比べて悪いものではありませんが、発育や期待育種価、母の実績を考慮して同期5頭の中で一番評価されたのは北勝平1でした。この後、北勝平1は鳥取県で開催された第9回全共の第1区（若雄）に北海道代表として出品されています。直接検定の成績のみでは、勝早桜5は一次選抜されなかった可能性は大いにあります。

表1. 17検定候補牛の期待育種価および直接検定成績

名号	血統			期待育種価		母の 成績数	日増体量 (kg/日)	365日 補正体重	終了時 体高(σ)	TDN 要求率	審査 得点
	父	母父	母母父	枝肉重量	脂肪交雑						
北勝平1	平茂勝	安平	誠隆	71.0	2.04	11	1.29	466	1.0	5.09	84.9
青雲桜1	雲仙丸	隆桜	糸秀	48.1	1.83	2	1.48	408	0.0	4.07	83.2
忠平福1	勝忠平	安平	糸平	63.3	1.95	5	1.04	357	-0.6	4.33	82.7
勝早桜5	勝忠平	安平	隆桜	66.3	1.96	1	1.29	432	0.7	3.74	83.3
北勝森5	平茂勝	金幸	神高福	76.7	1.64	1	1.27	432	0.0	4.33	84.2
全国平均(平成18年)							1.16	391	0.0	-	82.6

会費納入のお願い!!

2021年度年会費(個人会員2,000円)の納入をお願いします。

2020年度以前の会費を未納の方は至急納入して下さい(同封請求書を参照してください)。

研究会は会員の皆さんからの会費で運営されていますので、忘れずに納入をお願いします。

*勤務先・住所等が変更になった場合は事務局までお知らせ下さい。

*退会の際には必ず事務局までご連絡下さい。

表 2 に勝早桜 5 と同期 4 頭の候補牛の全兄弟検定の成績を示しました。勝早桜 5 は一卵性双子の成績が特に優秀で、加えて、生産現場での成績も優秀であったことが決め手となり、後代検定として選抜されました。一方で直接検定の成績から期待されていた北勝平 1 は全兄弟検定の成績が振るわなかことから選抜落ちとなりました。

表 2. 17 検定候補牛の全共兄弟検定成績

名号	調査頭数		出荷月齢		枝肉重量(kg)		ρ - λ 芯(cm ²)		BMS.No.	
	畜試	生産者	畜試	生産者	畜試	生産者	畜試	生産者	畜試	生産者
北勝平 1	2	0	30.1	28.0	454	-	51	-	3.0	-
青雲桜 1	4	0	30.5	28.0	499	-	58	-	5.4	-
忠平福 1 (双子)	2	2	29.2	27.3	370	513	46	69	3.5	6.5
勝早桜 5 (双子)	7	2	28.9	27.1	478	481	59	60	4.9	8.0
北勝森 5	4	1	30.1	28.0	423	461	46	49	3.3	4.0
平均			29.6	27.7	457	489	54	61	4.3	6.6

この様に勝早桜 5 は高い能力で生まれた幸運と一卵性双子が生まれ、その肥育成績が良好であったという幸運が重なり種雄牛として選抜することが出来ました。その一方で高能力でありながら選抜されず消えていった種雄牛候補がいたことも想像に難くありません。技術の発展した現在ではゲノム育種価評価により将来の種雄牛候補を受精卵の段階で見つけることが可能となりました。

さて、畜産試験場ではゲノム育種価評価と受精卵移植を活用した効率的な種雄牛の生産を来年度より実施する運びとなりました。

2021年 道内肉牛関連行事予定

第 11 回北海道肉専用種枝肉共励会 (アンガス・日本短角種)	10月28日(木)	帯広市・畜産公社
第 18 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020	10月28日(木)	帯広市・とかちプラザ
第 20 回北海道あか牛枝肉共励会	11月18日(木)	安平町・畜産公社
北海道枝肉共励会(黒毛和牛の部)	11月27日(土)	帯広市・畜産公社

※すでに終了した行事もあります。行事の概要等につきましては主催者へお問い合わせください。